

PGSサーボ内部設定各パラメーター設定についてのご説明

設定機能	CH	項目説明
CODE1 SSL-CH (SSLチャンネル設定)	ST	SSL(CODE10)使用時に使用するチャンネル数を入れる。 STで使用時は 1
	TH	THで使用時は 2
CODE2 STRETC (ストレッチャー調整)	ST	操作全域 に関係します。 数値が高い方が動作全域で車の反応が良くなります。 数値を上げていくと操作に対して反応が良くなる。
	TH	設定値が高い方がブレーキをかけた時に奥でもブレーキが効きます。 低くすると奥でのブレーキの効き弱くなり、ブレーキがロックしにくくなっていきます。
CODE3 BOOST (ブースト調整)	ST	ステアリング操作した最初だけの動きを変えます。 数値が高い方が初期反応が良くなっていきます。 動き出しの反応が良くなる。 コーナー入口の初めだけの動きになります。
	TH	数値が高い方がブレーキを操作したときの 動き出しが良くなる。
CODE4 D-BAND (デッドバンド調整)	ST	操作の遊びを変えます。数値が高い方が 遊びが増えます 。0は遊びが無くなります。
	TH	スロットル、ブレーキの遊び量の調整、数値が多い方がブレーキ操作した時の 遊びが増えます 。
CODE5 MV-MID (中間トルク変化調整)	ST	操作の中間域のトルクを変えます。数値が高い方がコーナーの 中間がトルクが増えます 。 コーナーのクリッピングポイントに付きにくい時は数値を上げればクリッピングポイントに付きやすくなる。
	TH	ブレーキ操作の中間トルクを増やすことが出来る。 ブレーキをかけてる途中のトルク調整、数値が 多い方が中間トルクが増えます 。
CODE6 MV-END (後半トルク調整)	ST	コーナー後半のトルクを変えます。数値が高い方がコーナー 後半曲がる、こけたり、引っかかる時は数値を下げる コーナー出口でアンダーが出る時は数値を上げる。
	TH	ブレーキかけた時に 奥でも強くかけたいときに数値を増やします 。ストレッチャーが低いと分かりにくくなります。
CODE7 BRAKE (ブレーキ調整)	ST	操作の後半の踏ん張りを変えます。 数値が高い方がコーナー出口の車の向きがインに向きます 。 数値高すぎると前が 引っかかってまいたりします 。
	TH	フルブレーキ時にブレーキを掛けて奥のブレーキの掛かりの調整。 数値を多くするとフルブレーキ操作に対して 奥での効きが強くなります 。 ストレッチャーが低いと分かりにくくなります。
CODE8 MV-HOLD (全域にわたる パワー調整)	ST	MV-MID~MV-ENDのパワーの出し方を変えます。 数値が高い方が操作時に直ぐにトルクが増えます。
	TH	MV-MID~MV-ENDのパワーの出し方を変えます。 数値が高い方が操作時に直ぐにトルクが増えます。
CODE9 MV-FRQ (全域にわたる フィーリング調整)	ST	数値を上げると、全域で外力からの反応速度が早くなり踏ん張ります。
	TH	数値を上げると、全域で外力からの反応速度が早くなり踏ん張ります。
CODE10 MAX-PW (MAXデューティー調整)	ST	動作全域のトルクの調整。数値が高い方がトルクが増えます。
	TH	動作全域のトルクの調整。数値が高い方がトルクが増えます。